

ずし体指だより

第6号

平成22年3月25日発行

全国体指研究協議会 報告

今年には会長以下6名で十一月十九日・二十日の木・金とで、山口県で開催された全国大会に参加しました。これは昨年千葉県で開催された全国大会に会長と三十年表彰者2名とで参加した際、多くの市町村が複数人で参加している事を知った為です。そこで今年新しい試みとして、複数人での参加を計画し、最初なので常任委員を中心とした有志が春から積み立てを行い実現したものです。

全国から約三千五百名が参加し、講演会(講師は増田明美さん)、シンポジウム、分科会が開かれ、両日とも熱心に多くの方が参加し、発言している事がとても印象的でした。この中で3点大事だと思いましたので報告します。

- 一、全国体指の公益法人化へ向け財政基金強化の為、体指一人ひとりから会費徴収(年100円程度)の検討がされている。
- 二、体指の総合型スポーツクラブへの一層の取り組みが期待されている。

三、ボランティア活動に対する種々の報い方がある。

せっかく山口まで来たので、分科会終了後、明治維新の志士が学んだ松山村塾(しようかそんじゅく)などを見学しました。一瞬、青春時代の気持ちを感じ出すことも出来た良い研修でした。

(池子 北島 惇夫)



今回は遠い山口へと有志多数で参加してきました

体指関東大会

六月五日・六日の金・土、東京都文京区の文京シビックセンターに於いて、体指関東大会が開催され、酒井会長が参加しました。

初日は、表彰式と宮嶋泰子氏による「混迷する時代の中でのスポーツと体育指導委員に求められるもの」と題した基調講演や、アトラクションが披露されました。今回、残念ながら逗子の体育指導委員の受賞はありませんでした。



会場ではちよる君が、お出迎えしてくれました

県体指大会

二月七日(日)快晴ながら身に沁みる寒さの中、体育指導委員二十数名はJR逗子駅に集合し、久しぶりの電車移動で会場となった藤沢市民会館に向かいました。

ニュースポーツ体験として秩父宮体育館他で、カローリング・スポーツチャンバラ・ノルディックウォーキングが実施されました。

午後のアトラクションでは全国大会にも出場している、小学校一年生から六年生により編成されている「湘南ドルフィンズ・マーチングバンド」の素晴らしい演奏と「藤沢市消防音楽隊」によるサザンオールスターズのヒット曲メドレーに聞き惚れました。

表彰式では県下各市町村から百四十名が、本市からは三名が、体育指導委員としての功勞に対し、表彰状が贈られました。

最後に、桜美林大学大学院教授の諸星裕氏による国際大会等の開催招致に係るエピソードを交えて「みる、する、ささえるワールドゲームズ」と言う事で基調講演がなされました。

(沼間 鈴木 繁昭)



表彰された方々 左から鈴木(美)さん、峯尾さん、鈴木(繁)さん



実技研修会

六月二十日(土) 逗子市消防署救急隊員による心肺蘇生法、AED(自動体外式除細動器)使用方法、及び三角巾の活用法を学ぶ救急法講習会に参加しました。

モデル人形を使い、意識不明者発見から人工呼吸、心臓マッサージ、AEDの使用法、到着した救急隊への引継ぎなど一連の行動を覚えると言う講習でした。

隊員の方に教わった直後でありながら、いざ実際に自分で処置を行うとなると戸惑う事も多く、体で覚える事の大切さを感じた貴重な体験でした。又町中に多く見られるようになったAEDに触る事が出来たのも良い経験になりました。

誰もがこのような救急措置が必要な場面に出くわしたくないと思います。でも、誰が何時、出くわすか分らないのも事実です。今後、定期的にこの様な講習会に参加して体に覚えさせていこうと思います。

(新宿 松井 弘喜)



腕の固定は簡単でしたね?

体力テスト会

十月十二日(祝)今年も体育の日に行われましたが、地域で行われる体育祭と行事が重なる事もなかった為か、多くの体育指導委員(四十四名)の協力の下、逗子アリーナで行われました。

例年通り、参加者は看護師さんによる血圧測定後、準備体操をして年齢別に設定されている六種目の測定に挑んでももらいました。

今回の参加は三十四名で、このテスト会で常連?となられた、九十二歳の最高齢参加者の方も今年も元気に各種目にチャレンジされていました。この方のようにいつまでも元気に過ごせるよう、日ごろの運動で、体を鍛え、常連がどんどん増えてほしいものです。また、体育指導委員に対し看護師さんから「高血圧はなぜ怖い?」「高血圧



三角巾、使う時にはまずこうやってたんで..

逗子市民まつり

十月十八日(日)今年も快晴で迎えた第三十三回逗子市民まつりが第一運動公園でにぎやかに開催されました。主催者側の発表では人出は六万五千人との事で、年々人出が増えているように感じられます。

二十六名の体育指導委員が、例年通りゴミ監視員として交代で会場美化に協力し、ニュースポーツ体験コーナーではフライングディスク・ペタンク・グランドゴルフを担当しました。

この日の体験者数はフライングディスク四百五十名・ペタンク百九十名・グランドゴルフ二百十名で、気軽に短時間で出来るフライングディスクは多くの参加者(特に小さな子供さん)を集めてました。一方、ペタンクやグランドゴルフでは親子や友達同士でプレーを楽しむ姿が多く見られました。



上体起しの測定 後で腹筋が痛くならない様に

を防ぐには?」など血圧にまつわる話を聞きました。



あのコースを狙うか... 一方こちらは??



米軍家族住宅の親子?も楽しんでいました

※ 第五十四回健康祭り市民運動会は五月十七日及び予備日の二十四日の両日とも雨天となった為、中止されました。
※ 八月三十日に予定されていましたが家族交流会は、荒天(台風)の為、中止されました。

感想文 **オリエンテーリング**

十一月十四日(土)は生憎の天気により翌十五日に延期となった今大会、当日は素晴らしい天気のもと、27組130人強の参加者が集まりました。

今回は新宿会館及びその隣接地広場を起点に約6kmの行程で行われましたが、途中二組が披露山公園入口のチェックポイントで通過出来なかった位で概ね順調に過す事ができました。

しかしながら、広場が狭かったり、会館との事前打ち合わせとして海のそばであるが故の、当日の天候にフレキシブルに対応できるような準備が不足して、トン汁作りに手間取ったり、会館内の使用に制限があったりと、今回初めてこの場所を使って見えてきた課題が多々ありました。

これからも小坪方面をもっと攻めたいと思います。それにはここを起点に出来る都合も良いので、今回の課題の改善策を含め充分検討して、プランを立てていけると良いと思えました。

(逗子 岩下 晃)



元気に次のチェックポイントめざして



トン汁の準備も大忙しです

第57回市内一周駅伝競走大会
新宿 二連覇

◆新宿駅伝チームの4年間の報告◆

私が新宿駅伝チームの責任者を任されたきっかけは、ジュニア陸上教室のお手伝いに度々参加していたからだと思えます。しかし一人ではチーム作りをする自身がなく、陸上教室の高橋さんが陸上競技の経験者なので、色々相談させて頂きながら、総監督として行動しております。

私は元々シテイランナーで陸上競技の経験がありません。でも子供が好きで自分の練習がてら子供達と楽しく陸上教室で過ごすひとときが好きで、今でも時間が許す限り参加させて頂いており、こうした時の流れで子供達も成長して今では中学・高校の陸上部に所属し、勉強とスポーツを両立させ頑張っています。そしてその結果が三年前の入賞、二年前の準優勝と、選手は着実に実力を付け、昨年の池子Aチームの九連覇を阻止しての初優勝。責任者と

して今まで経験した事のない喜びでいっぱいでした。それから一年、受験を控えた選手もいる中、チーム一丸となり各選手が標の重さを感じながら最高の走りで二位と2分4秒の差をつけて二連覇する事ができました。来年も受験生がいて、その仲間の為に一致団結して三連覇する事を選手同士が約束している事に感動しました。

しかし新宿は狭い地域、ここまでの逞しい選手集めは大変でした。

(新宿 木下 義基)



体指も協力 着順記録は特に神経を使います

県体指研修会

十一月二十三日(祝)に神奈川県体育指導委員研修会が大井町総合体育館で開催され、県内各市町村から302名が集い、逗子からは3名が参加しました。

今回の研修種目はキンボールとファミリーバドミントンで、子供から高齢者までが「励まし、助け合い、感動の

共有や協調性を高める」そんなコンセプトを具現化したスポーツでとても有意義なものでした。

女性体指研修会

◆最後の女性体指研修会◆

一月十六日(土)に横浜市南スポーツセンターで女性体指研修会が行われました。この研修会は二十年程前、当時はまだ少なかった女性体指の活躍の場を広げるために始められ、二十年経った現在、女性体指も増え活躍の場も広がったことから、今年度で女性部会は廃止となり、来年度の体指研修会は研修部会主管になるそうです。

今回の研修はドッチビー。二百人の参加者がいたため、半分に分かれ、片方はドッチビーの試合を体験。残りの半分は、フライングディスクでのストラックアウト、遠投、直径70cmの巨大フライングディスク投げに挑戦。見たこともない巨大なフライングディスクは両手で持って投げるため、思いの他難しかったです。四苦八苦しましたが、あつという間の楽しい研修会でした。



巨大ディスクを狙った所に飛ばすのは思ったより難しかったです

横ニブロック研修会

二月二十一日(日)に、横須賀市・三浦市・逗子市・葉山町の体育指導委員七十名が参加して、開催当番の逗子市に於いて行われました。

会場となった逗子アリーナのメインアリーナには今回の実技研修種目となったバウンスポール用に五面のコートが準備され、開会式の後、準備体操をしてから、逗子の岩下体育指導委員よりバウンスポールのルール説明があり、12チームに分かれトーナメント方式で試合が行われました。

バウンスポールは前号(体指だより5号)でも紹介したようにボールが柔らかい為、突き指などの心配も無く、子供から大人まで年齢・性別に関係なく、日常スポーツに親しみの少ない人達にも気軽にゲームを楽しむ事のできるスポーツです。

実際、今回初めてボールに触った参加者も、初めのうちは軟らかく軽いボールの軌跡に予測が付けられず、ボールの処理に四苦八苦していましたが、すぐに慣れ、試合を楽しんでいましたので、気軽にできるニュースポーツである事を裏付けているようです。

決勝戦は三浦市Aチームと葉山町Bチームで行われました。両チームとも勝ち抜いてきただけあって、好ラリーの続く試合運びで、小差で葉山町Bチームが優勝しました。
ゲームを通して参加された各地区の皆さん方と互いに交流を深めることができた有意義な研修会でした。



右 葉山チーム
上 三浦チーム



お知らせ

平成22年度(22年4月〜翌年3月)は、(財)逗子市体育協会の創立六十周年の年にあたります。そこで体指でも各種行事・印刷物などに六十周年を告知するタイトルをつけて、これを祝う活動を展開します。



編集後記

村木前会長には、会長のもとで12年間 副会長を務めさせて頂いた折、大変お世話になりました。また、プライベート面でもお世話になり、大変感謝しております。ありがとうございました。

ご冥福をお祈り致します。

第五代会長 酒井 博

苦しい会運営費の中、「体指の広報を！」と印刷費を捻出して村木前会長を中心に始めたこの広報作り、会長の代が変わってからのカラー印刷版の発行や広報委員の活躍ぶりを大変喜んでくれました。

広報作りの折には色々とお世話になり、ありがとうございました。ご冥福をお祈り致します。

広報委員会

石渡眞澄・笠原恵子・高山啓市・峯尾尚子
酒井 博・平 芳子・東 弘之

発行／逗子市体育指導委員協議会

事務所／逗子アリーナ内 Tel 046-870-1296

発行責任者／酒井 博

うみかぜクラブのロゴマークが出来ましたので、ご紹介します。



※ 上: のぼり旗の色に合わせた黄色と、青いラインで波と風をイメージしています。



※ 左: スポーツを通じて人が繋がりが健康な精神が繋がる様子を表現。また、クラブ名にちなんで、波と風を感じるフォルムにデザインしています。

訃報

逗子市体育指導委員協議会第四代会長の村木 定夫さんが去る1月10日、ご逝去されました。ここに謹んでご冥福を、お祈り致します。